よき師
よき友
つどひ
結べり

法政大学 校友連合会報

http://www.hoseinet.com

発行・法政大学校友連合会
発行人　桑野　秀光
編集人　宮本　幸彦
〒102-0073
東京都千代田区九段北3－2－3
法政大学九段校舎内4階
TEL　(03) 3264－1831（代表）
FAX　(03) 3264－4770
振替口座　00100－8－89141

法政大学校友憲章

われわれ法政大学校友は、
母校の伝統風土である「よき師 よき友 つどひ結べり」の精神を継承し、

21世紀のヴィジョン「開かれた法政21」の実現のもと、
母校の校格を向上させることを目的として、強力な支援体制を築く。
また、「母校への誇り、母校愛、母校への貢献」を共通理念として、
校友が一体となった活力ある組織を形成するものである。

明日の法政大学を創る

自由と進歩

“法政のチカラ”CCS作戦でオレンジ新風

LIBERTY AND PROGRESS

新春対談

校友連合会は、4月1日より一般社団法人「法政大学校友会」として生まれ変わります。新組織移行へのご理解と承認を得るため桑野秀光会長はじめ役員が精力的に地域支部、学部・付属校同窓会、卒業生団体等への説明行脚を実施し、1県1支部体制が45都道府県で承認されました。大学は、後援会との取り決めで2013年度のすべての卒業生から終身会費の代理徴収を実施し、校友会に全額納入するシステムの導入に踏み切りました。これによって毎年、約7千人の終身会員が校友会に加入してきます。校友会は、従来にも増して透明性の高い組織が求められます。そこで、桑野会長、増田壽男法政大学総長に、新組織の事業活動、大学の将来像などについて語っていただきました。

（コーディネーター・佐々木郁夫）

待望の都道府県1支部
大学後援会と三位一体

―昨年6月29日に開かれた全国の団体責任者会議で、新しい卒業生組織に生まれ変わることが決まりました。どのような背景からですか。

桑野会長　大学は校友会に対する改革決議を2009年に決めました。都道府県に1県1支部を作る、4年後の卒業生から全員校友会に加入するという2つのテーマを改革の旦玉として、増田総長と岩部前会長とで合意し実現に向け活動が始まりました。大学が諸々の施策を展開する場合、大学、後援会、校友会が三位一体となって動かなければなりません。校友会も1県1支部体制を目指し、45都道府県（和歌山県、奈良県を除く）で支部ができました。また、受験生に事前通知し終身会費徴収の仕組みを取り入れるために、大学には大きな力を発揮していただき、今年の卒業生約7千人全員から終身会費（3万円）を収めていただくことになりました。毎年、校友会に7千人近くの卒業生が終身会員として「年度同期会」で加入してきますので、任意団体の校友連合会では、管理・運営等で限界があります。終身会費の取り扱いなどについて透明性、発展性のある健全な組織運営にしなければなりません。このようなことから校友連合会を3月31日に解散し、4月1日から一般社団法人「法政大学校友会」への設立に踏み切り、より大きく、より開かれた組織体制としました。

法政大学校友連合会会長
桑野　秀光
（くわの　ひでみつ）
○1937年福岡県生まれ
○曙ブレーキ工業（株）相談役

法政大学総長・理事長
増田　壽男
（ますだ　としお）
○1941年東京都生まれ
○法政大学名誉教授

校友会館を建設し母校に貢献
キャリア・カルチャー・スポーツ
中長期的に描く大学像ブランド

―都道府県1支部実現のため全国を廻りました。

増田総長　今まで卒業生と大学との関係が、やや希薄でしたが、今度はそこを変えようという大学側の判断と、校友連合会が具体的にアクションを起こし積極的に活動してくれたことで45都道府県での1県1支部が実現できたのだと思います。全国を廻って感じたことですが、卒業生はこうした組織ができることを待ち望んでいたように思います。

会長　総長、徳安彰常務理事が本当に精力的に全国を廻っていただいたことで、校友の方々も大学の姿勢を真摯に受け止め、1県1支部実現に向け協力していただけたのだと思います。

明日番の成果が着々と
55、58年館の建替整備を

―2期6年総長を務められました。この間、「明日の法政を創る審議会」の答申を受け、多くの大学改革に取り組まれましたが。

総長　6年前総長に就任した時、私は、大学改革には教員と職員が一緒になって取り組む組織が非常に効果を発揮すると思っていましたので、大学が一致して動くシステムを作らなければと〝明日の法政を創る審議会（明日審）〟を立ち上げ、その下に10ほどの分科会を設置しました。個々の教員、職員が動くというのは難しいと思い、それぞれの分野とテーマを決めて1年かけて答申を出すことにしました。10年くらいで法政大学を変えるためには何をしたらよいかという諮問をし、それについて各分科会が答申を出し、それを答申書としてまとめ、2～3年目くらいから実行に移してえ

【2面に続く】

㊨外濠側外観イメージ図（外濠公園より仮称「ゲート棟」を望む）
㊧現在の外濠側55、58年館（中庭より80年館・大内山庭園・仮称「南棟」を新築）＝建替工事を14年春より開始。

HOSEI Univ.
2014年
オール法政新年を祝う会
“オール法政の陽　お台場から昇る”
地域、同窓会、職域、各キャリア界、スポーツ・文化サークル・ゼミOB会・在学生のご父母の皆様　オール法政の夜明けを共に祝おう
“眠れる獅子 100年の眠りから覚める”
「法政力」を観るのは今でしょう！
特別企画
1. トークショー
スポーツ健康学部長 山本 浩教授（元NHKアナウンサー）
2. アトラクション出演予定
法政大学交響楽団・法政大学応援団吹奏楽部、ニューオレンヂスウィングオーケストラ演奏　他
日時　平成26年1月26日(日)　12時受付 13～16時開宴
場所　ホテル・グランパシフィック LE DAIBA　パレロワイヤル
会費　12,000円（同伴ご家族8,000円）1卓10名着席
※必ず事前に会費のお振込みをお願いいたします。当日の会費支払いは、着席形式のためお受けできません。
お問合せ　法政大学校友連合会事務局
Tel.03-3264-1831 Fax.03-3264-4770

HOSEIパワーの集結を発揮
総合大学初の一般社団法人格で始動

【1面から続く】きました。自分たちの集約した意見が実行に移されるということを経験させることで、やる気が変わってくることを、特に職員のやる気が大きく変わることを期待し、その期待に応えてくれたと思います。

1期目の2年目は、答申に沿って答申案が提出され実行することができましたので、全学的に動くことができたと思っています。

法政大学には、市ケ谷・多摩・小金井キャンパスがあります。それぞれ自立性が高い学部で構成されており、大学として一つの統一的テーマを求めていくことは大変難しい問題が多々あります。高い目標を立てましたので全部を達成することは難しかったのですが、それなりの成果を出すことができました。

また、建物では小金井キャンパスの各校舎が全面建て替えを終わり、今年から市ケ谷キャンパスの55年館、58年館の建て替えを決定、大内山を残して緑の空間で各館をつなげるという大胆な設計を基に着工いたします。多摩キャンパスについては、長期修繕計画をもとに、設備の更新工事を順次実施していく予定です。

また、スポーツ振興にも一生懸命に取り組み、ラグビー部に谷崎重幸さんを招聘したり、駅伝に坪田智夫監督を誕生させたりしたのですが、すぐ結果が出るという単純さではなく、なかなか成果には結びつきませんでした。

女子部、青年部の充実　CCs事業を全国展開

── 総合大学では初の一般社団法人格をもつ卒業生組織が誕生します。どのような活動を行うのですか。

3キャンパスの自立性と成果　ホームカミングの招待企画も

会長　法政大学も女子の学生が増えています。これからは、全国の校友会の中に女子が活動できる組織を作り、女子部、青年部の充実で組織強化につなげ、積極的に取り組む課題と受け止めています。事業については、現在行っている「オール法政ゴルフ大会〝総長杯〟」、「オール法政新年を祝う会」、「全国卒業生の集い」は内容や実施方法等については再検討し、継続していきます。また年度卒業生の集いホームカミングフェスタに招待する企画も準備計画します。

そして、一般社団法人だからこそできる新事業（CCS事業）を実施していきたいと思います。Uターン、Jターンを希望する学生などに地域の校友会や同窓会などが就職を斡旋するような仕組みを作っていく**キャリア支援**。大学から講師を派遣してもらい各地で公開講演会を行って大学の校格を上げたり、若者に法政大学の知名度を高めていくことや、大学に所属するオーケストラなど音楽関係の団体に出演を依頼。例えば、地方での公演では地元の交響楽団と法政大学の交響楽団とが合同演奏会を開いて地元の公会堂などを使用して地域振興に結びつけるなどの**カルチャー事業**。そして、毎年行っている「法政ライオンズクラブ杯空手道ジュニア選手権」など卒業生による青少年育成のための**スポーツ交流**の3つの事業に取り組んでいきます。

その一環として、このほど増田総長が衆議院会館で法政出身の国会議員の会を催し、校友連合会も全国市長会を開きました。

また、グローバル時代に対応するためにニューヨーク支部、台湾校友会を始め英国校友会などが立ち上り海外支部への動向調査を行っていきます。

品格を備えた組織作り　学生・卒業生で校格が

──校友会への要望などを。

総長　40年以上、卒業生組織を見てきましたが、大学側が動かなければ卒業生組織の改革は難しいと思っていました。校友連合会は、数千人の会費での運営ですので活動にも限界があります。そこで、後援会に卒業時の終身会費納入の導入を打診しました。後援会からは、卒業生組織がきちんと運営されることは非常に重要だとの認識をいただき、今年の卒業生から大学が代理徴収し校友会に終身会費として納入することになりました。品格をもって大学に対応できる組織作りは、岩部前会長、桑野会長のご尽力で着々と進み、大きく変化してきたと思います。

特に今回設立した一般社団法人は、単に新組織に移行することだけでなく、全く新しい発想の基に生まれた卒業生組織だと思います。社会で活躍している卒業生が大勢いて、現役の学生たちをいろいろな形で引っ張っていくような雰囲気を作り上げていかなければなりません。現役の学生と卒業生によって校格は決まると思います。

後援会は大学が関与していませんが、各都道府県に支部があり、会員から選出されたボランティア役員が支えるという全国の大学の中でも突出した組織です。校友会も是非、後援会と足並みを揃えて活動を進めていってもらいたいと思います。

終身会費で校友会館を　法政カラーの時期到来

── 終身会費の大部分を積み立てて校友会館を新設しますが。

会長　今年の卒業生から終身会費をいただきます。校友会館建設は、オール法政大学の事業として位置付けていますので、卒業生の方々も是非終身会員へのご加入をお願いいたします。

また、建設には5年、10年とかかりますので、今後は基金の募集を実施していきます。ご協力をお願いいたします。

── 法政大学が描く大学像は。

総長　中長期的にどのような大学として法政大学が進んでいくかについては、何を目標にどういう大学をどう作るのかなど真剣に考える必要がある時代に来ていると思います。

法政人は、かなり自立的な人間像を持った人が多くいます。私は法政の卒業生が社会の中で活躍することや、どういう生き方をしているかを見せることが非常に重要だと思いますし、そこから法政カラーも生まれてくるのではと思っています。

（企画・取材　宮本幸彦
原田和夫
構成・写真　伊藤正義）

理事・代表議員・監事推薦候補者（案）

昨年の6月29日の団体責任者会議で一般社団法人化の定款承認を受け、7月28日に登記が完了。11月28日の役員候補者推薦委員会で、会長、監事が推薦され、第一期の理事・代表議員が選出され、4月1日の設立総会で承認を仰ぎます。（敬称略）　※兼務副会長

理事

会長　桑野秀光
副会長　岡田安弘
佐々木郁夫
岩村元雄
中山重臣
井上泰一
松井幹夫
西岡憲廣
樋口正蔵
阿部鞏
豊田信哉
職域団体　金子正之
大島雄次
和食克雄
中村一三
スポーツ団体　吉田義夫
高津利明
長嶋克佳
学部同窓会　田中義教
辻田実
岩井昭
付属同窓会　※岩村元雄
北海道ブロック　※西岡憲廣
東北ブロック　三浦徹
北関東ブロック　伊藤貞雄
東京ブロック　※阿部鞏
南関東ブロック　永﨑秀一郎
北信ブロック　※松井幹雄
中部ブロック　杉本仁至
関西ブロック　※樋口正蔵
中四国ブロック　西康宏
九州・沖縄ブロック　川越悦生

代表議員

〈北海道ブロック〉
北海道校友会　藤田開
〈東北ブロック〉
青森県校友会　對馬忠雄
岩手県校友会　宮田謙
宮城県校友会　安孫子博
秋田県校友会　酒井久範
山形県校友会　千葉一宇
福島県校友会　木村昇
〈北関東ブロック〉
茨城県校友会　木村眞
栃木県校友会　竹田平
群馬県校友会　江原晴一郎
埼玉県校友会　大井巳喜彦
千葉県校友会　廣野貴之
新潟県校友会　金親顕男
〈南関東ブロック〉
神奈川県校友会　小針久
静岡県校友会　前田米蔵
山梨県校友会　樋泉智男
〈東京ブロック〉
東京都校友会　高根典文
〈北信ブロック〉
富山県校友会　山地清
石川県校友会　塚本幹雄
福井県校友会　山﨑勝利
長野県校友会　加藤正男
〈中部ブロック〉
岐阜県校友会　井納誠
愛知県校友会　松岡浩一
三重県校友会　後藤晃一
〈関西ブロック〉
滋賀県校友会　馬場康次
京都府校友会　野口龍夫
大阪府校友会　山本博文
兵庫県校友会　金清信夫
〈中四国ブロック〉
鳥取県校友会　小林重喜
島根県校友会　植尾佳功
岡山県校友会　藤森元則
広島県校友会　打越勲
山口県校友会　東屋昌男
徳島県校友会　石原譲
香川県校友会　詫間敬芳
愛媛県校友会　長野隆一
高知県校友会　三谷勝水
〈九州沖縄ブロック〉
福岡県校友会　松尾幸静
佐賀県校友会　峰英太郎
長崎県校友会　塩塚顯
熊本県校友会　岩下信而
大分県校友会　岡村邦彦
宮崎県校友会　高穂勝紘
鹿児島県校友会　荒武連
沖縄県校友会　知念榮治
学部同窓会
経済学部同窓会　加藤毅
法学部同窓会　斉藤友嘉
文学部同窓会　井阪義雄
理系同窓会　佐藤敏夫
社会学部同窓会　水上久忠
経営学部同窓会　三海眞一
付属校同窓会
法政高校同窓会　今西堯
法政二高同窓会　品田秀行
法政女子高同窓会　小倉久子
職域グループ
法政財界人倶楽部　新井欣弥
公認会計士法友会　飯塚昇
法政会計人会　武田眞吾
経営者懇談会　米山英靖
建設・不動産橙法会　池田亘
東京法政ライオンズクラブ　倉持正
マスコミオレンジ会　藤田恒美
文化シャッター法友会　潮崎敏彦
西松建設法友会　佐藤秀則
法友さくら会　後藤淳二
スポーツグループ
応援団OB・OG会　久保田和則
法友野球倶楽部　五明公男
法政剛柔会　小嶋利夫
法友体育会　山重美登士
アメリカンフットボール部OB・OG会　安藤秀樹
駅伝友の会　高橋将昭
2013年度同期会（3）

監事

公認会計士　矢部豊
弁護士　山嵜正俊
税理士　発地敏彦
法人統括本部長　小川浩幸

こんにちは！

卒業生訪問

中学、高校と陸上部に所属、現在、週末には、早朝1時間の散歩やスポーツジムで4時間ほど水泳などで体を鍛え、社会人1年目から始めたゴルフは年40数回プレイをする根っからのスポーツマン。また安倍内閣で政府・経済界・労働界の代表による「政労使会議」のメンバーとしても活躍。常に仕事に対して本気で、そして真剣に取り組むことを信条とするセブンイレブン、イトーヨーカ堂、セブン銀行などを配下にもつグループ総売上が9・8兆円、世界で5万2000店舗を展開するセブン&アイ・ホールディングス代表取締役社長兼最高執行責任者の村田紀敏さんに学生生活やグローバル企業のトップとしての仕事ぶりなどをお聞きしました。

株式会社セブン＆アイ・ホールディングス 代表取締役社長 兼 最高執行責任者 村田紀敏さん

変化をチャンスにし積極的にチャレンジ

―趣味、健康への取り組みについて

中学の時、文京区の大会で3千m競争2位、高校も陸上部に所属していましたので自然と体に覚えこまれたスポーツ。体を動かすことで健康、リフレッシュ、趣味にもつながります。週末は、朝6時から近くの公園で速足、小走り、速足と1時間ほど歩いています。日曜日は、トレーニングジムで走る、泳ぐ、エアロビクスなど約4時間程体を動かしています。就職時から始めたゴルフは、今は月2回程度プレイ、所属コースのハンディキャップは19です。

恵まれた恩師 中学時代の友人

―大学は、経済学部に進みました。どのような学生生活を送られたのですか

数学が好きで理数系も考えたのですが、これからの時代は経済成長が見込まれるからと法政一高（現法政高校）の恩師から薦められ経済学部に行きました。中学時代（文京区）からの大勢の友人との付き合いが続き、特に明治、慶応、中央大に進んだ男子と、共立、大妻などに進学した女子とのグループでの行動が主でしたが、青春を謳歌することができました。

週末は運動を 月2のゴルフで

学徒出陣の若者 空に願う未来を

―最近、読まれた本のご感想を

百田尚樹さんの『永遠の0』。ゼロ戦で戦い、死んでいった青年や学徒出陣した若者の遺書などを記した小説。ゼロ戦というと皆が国のために死んで行ったと思われがちですが、実は社会の波にのまれて愛する人や家族と別れていかなければならない心境や気持ちを表現した小説です。第二次世界大戦は大きな問題のある戦争でしたが、小説にはそこで戦った人達の気持ちが象徴的に書かれています。是非、若い人たちに読んでいただきたいと思います。

自分たちで創る アイデンティティを

―在籍する学生へのアドバイスを

今、日本は、社会や経済など先行きに不安感がありますが、一方で今の日本は、非常に豊かな国であると思います。この豊かさを創ったのは、団塊世代の人達です。これからの社会を創って行くのは20代、30代の人達です。ですから、今の社会のことを問題視するよりも自分達が何をすればもっと豊かな日本になっていくかに目を向けるべきで、与えられたことではなく自分達で創って行くという考え方を持つことだと思います。世の中は想像以上の勢いで変化しています。今後、高齢者人口が増え、少子化が進むなど社会構造が大きく変わって行くと思います。変化をチャンスと捉え何事にも積極的にチャレンジしてほしい。また、海外に行って思うことは、日本は一人ひとりの教育が高く生活も豊かで街並みも綺麗な上に治安も良いなど世界に誇れる国です。若い人も日本人として生まれた自分自身のアイデンティティというものをしっかりと持って将来に向けてチャレンジしてほしいと思います。

（取材　佐々木郁夫　宮本　幸彦　笠原　榮作　伊藤　正義）

週活、変化対応 マネージメント

―卒業後、流通業界に進まれました。業界トップの企業で陣頭指揮をとられるなどご活躍されております。入社後、特に印象に残るお仕事は

企画・販売・管理・人事などに携わりました。販売事業部長の時に、今週やるべきこと、今の環境変化に対し本部の考えを示し、マネジメントする上での最低限の基本行為の3点を多数いる現場の責任者に明確かつ繰り返し指示することに致しました。その後は、現場の人達が創意工夫するなど自発的に取り組み、それによって職場が盛り上げることが一番だと思っています。自分が責任を持って現場を見ることによって、全く違った目で現場を見られるようになりました。だから販売は7年と短い期間の担当でしたが、自分にとってその後の仕事ですごい糧になりました。

企業行動指針

1　私たちは、お客様に信頼される誠実な企業でありたい。
2　私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3　私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

PROFILE

むらた・のりとし

1944年（昭和19年）東京都生まれ。66年経済学部卒業。71年株式会社イトーヨーカ堂入社後、取締役・企画室長、販売事業部長、専務取締役専務執行役員最高財務責任者（CFO）（管理本部長兼人事本部長、システム本部長、人事室長、人事部長、グループ人事相談部長兼務）を歴任。

2005年9月に、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社西武百貨店、株式会社デニーズジャパンなどの持株会社として、セブン&アイ・ホールディングスが設立。同時に代表取締役社長兼最高執行責任者（COO）に就任。「変化への対応と基本の徹底」のスローガンのもとに「グループを結集し、未来へ向かって挑戦しよう」と呼びかけ、セブンイレブン創業40周年を迎えた。

校友随想

〝法政おおわが母校〟を卒業して幾年。各地で活躍し、その後の人生模様を寄稿願った。

東京都校友会理事
東京六大学野球連盟理事

堀場　功

1966年 経営学部
経営学科卒業

昔も今も野球漬

在学中は硬式野球部のマネージャーでした。高校は付属の法政二高で甲子園出場4回、2回の優勝。大学時代も毎年の4回優勝と恵まれた学生時代でした。卒業後もOB会の役員としてずっと野球部から離れることなく過ごしてきました。

現在は、東京六大学野球連盟の理事（部長、監督、先輩理事の3人が各校から理事となる）として春・秋は神宮球場通いが続いています。

近年は、六大学野球も各校とも硬式野球部を重点強化部として力を注いでいるため実力が拮抗し、なかなか厳しい戦いを強いられ苦戦をしています。

法政大学野球部が過去に数度記した黄金時代の復活を目指してはいますが現実はそう甘くはありません。しかし、選手諸君は日々精一杯の頑張りを見せています。校友の皆様、是非、神宮球場に足を運び、後輩たちを応援して頂きたいと願っております。

私も恵まれた学生時代を過ごさせたもらった東京六大学野球の繁栄、法政大学野球部の発展のため、微力ながら最後のご奉公をしています。

日本の仮名文字は美しい。筆で描く曲線は流れるように優美である。

私がこの美に魅せられたのは、法政で『源氏物語』を原文で学んだおかげである。仮名の書道会に属し、

文学部同窓会副会長

星ミユキ

1969年 文学部
日本文学科卒業

仮名文字の美

変体仮名を基礎から学んでいたこともあってとても親しみやすかった。

書道会の展覧会には、変体仮名で古歌などを書いていたが、だんだんマンネリになり、一大決心をして自詠歌を書くことにした。

だが現代短歌に変体仮名は似合わない。やむなく変化がつけにくく、粗の目立つ「漢字仮名交じり書」で書くことにした。観に来てくれる人も、そのほうが読みやすいと言って喜んでくれる。

縁あって九〇歳代の人に『百人一首』を教えているが、昔女学校で習ったそうで歌を諳んじながらすいすいと変体仮名を連ねていく。実に楽しそうで、見ていて笑みがこぼれてくる。

この喜びを噛み締めながらこれからも日本の美しい仮名文字を継承していきたい。

津軽富士（岩木山）を眺めながら、校友連合会報などを見る度にスピード感溢れる大学改革に頼もしさを感じているところです。

私は、法政大学を卒業後、山形県の公立高校の教諭を経て、八甲田山麓の陸奥湾を望む青森大学に赴任し、早21年を迎えております。

学生時代は、池のある小金井旧校舎で材料物性分野の実験を繰り返して過ごしました。

当地に移った後も、理工学部の栗山一男、浜中廣見両先生や独立行政法人日本原子力研究開発機構などとの共同研究を通して、成果を上げることができました。

これまで、青森大学と弘前大学（非常勤講師）で、研究教育に全力を注いできましたが、その基本は母校で培った**進取の気象質実の風**の姿勢にあるように思います。

この頃は、母校の校歌を口ずさみながら気持ちを高揚させているところです。

「我が母校」のますますのご発展をお祈りいたします。

青森大学ソフトウェア情報学部教授

矢萩 正人（まさひと）

1983年 大学院工学研究科博士課程修了

津軽富士を眺めながら

支部・団体 学部付属同窓会だより

編集企画構成
笠原　榮作
矢田　義徳
相川　欣運
高根　典文

松戸支部

特別スピーチや落語で湧く 第5回松戸支部秋季懇親会

千葉県校友会松戸支部では、第5回秋季懇親会を昨年10月4日に52人の参加のもと開催しました。

廣野貴之支部長が、「松戸支部では既に創立45周年を経て、諸先輩が築いたこの実績をもとに母校の発展と校友会会員相互の親睦・連携強化を目指して活動を推進したい」と挨拶。

懇親会は、橋本勝行松戸市役所法友会副会長の力強い音頭で乾杯して歓談に入りました。

来賓挨拶を兼ねて山中正竹法政大学特任教授（元横浜ベイスターズ専務、法政大学野球部監督等歴任）による特別スピーチが行われ、高校野球への取り組みに関連した実話や昨今の野球事情など幅広い話題に及びその都度参加者から拍手や笑いが起こり終始なごやかな雰囲気で盛り上がりました。

そして、今回は落語研究会OBの塚原進氏（S41社会卒、芸名「うつら　ぐう楽」）と田面　宏氏（S51法卒、芸名「神楽坂　圓ケ朝」）のご両人が落語家の衣装で高座に上がり、在学当時の六大学野球や法政の試合風景などを面白く披露し、いよいよ落語に移ると会場は温かい笑いと拍手に包まれました。

会場では滝澤幹雄氏（S42経済卒・駅伝友の会会員）が箱根駅伝での活躍を支援しようと呼びかけて拍手の中で募金が行われました。

また、新規会員の自己紹介では、紹介の度に声援と歓迎の拍手が起こり、会場は「よき師　よき友　つどひ　結べり……」の空気で満たされました。

松山副会長の中締めのあと、大塚建児氏（H14年法卒、松戸市役所法友会）のエールに続いて参加者全員が大円陣を組み校歌斉唱で閉会しました。

（幹事長　佐野　利雄）

神奈川県校友会

ふれあいを楽しむ第2弾 ビール工場見学とバーベキュー

神奈川県校友会は意気高し!!　県校友会は昨年の2月に設立をしたばかりではあるが、5月18日には設立記念事業（東京六大学野球の応援及び東京スカイツリー見学）、そしてそれに続く第2弾として、10月12日にキリンビール横浜工場の見学及びバーベキュー大会が開催された。当日は、京浜急行生麦駅に午後2時30分に集合。厚木法友会からは4人が参加し、他支部の参加者全員が集合したところで工場にいざ出発！途中、生麦事件が起きた場所の説明を受けながら10分程で到着した。午後3時からの工場見学の説明では、おいしいビールは原料から（麦芽、ホップ、水）なので、どれも選び抜かれた高品質のものばかりとのこと。実際に手に取って味見もしました。そして製麦から仕込み、発酵、ろ過、瓶詰などの製造工程の説明（ビールと発泡酒の違いは原料の割合等なども）を約40分受けた後、喉が渇いてきたところで試飲（1人グラスで3杯迄）の時間となり、一番搾りフローズンビールやラガー、黒ビールを楽しめた。その後、会場を移動してバーベキュー場の「ビアポート」へ。永崎県校友会会長の挨拶のあと、参加者24人が和気あいあいとした雰囲気の中、おいしいビールとバーベキューをいっぱい堪能（飲み放題・食べ放題）することが出来ました。厚木から参加の25歳の青年も横浜や鎌倉のおじさん達へ注ぎに行き、「大勢の方といろいろな話が出来て楽しいひと時でした」と感想を述べてくれました。約2時間はあっという間でした。

今後も、いろいろな事業を計画しますので、皆さんにも是非参加をしていただくようお願いいたします。

（会計　足立　一彦）

熊本県校友会

後援会役員も参加 総会と懇親会開く

熊本県校友会の平成25年度総会と懇親会を昨年10月25日に熊本市のホテルキャッスル熊本で開きました。

初めて参加の後援会熊本県支部役員6人と校友会合わせて約50人が出席しました。稲津暢洋氏（H2文卒）の司会で開会、岩下信而支部長（S40文卒）が挨拶、小田栄一会計幹事（S50経営卒）の会計報告、安藤敬久幹事（S48経済卒）の監査報告などがあり、山室一義幹事長（S46法卒）が終身会費などについて説明して閉会しました。

引き続き同会場で懇親会。松田正邦顧問（S28文卒）の発声で乾杯、後援会の岡田浩光支部長（S58社会卒）が挨拶、参加の支部役員を紹介しました。稲津氏の軽妙な司会で会は進行、初めて参加の校友の自己紹介もあり和やかに懇親しました。

城戸克二前支部長（S41経営卒）が前年度からの経過を報告、応援団OBの小田会計幹事の指揮で肩を組んで校歌を斉唱、神田雄允氏（S38経済卒）の正調一本締めで中締め、三々五々夜の繁華街に散りました。

（事務局）

富山県校友会

夕張市長を招き校友の集い 女子部会を新たに結成

平成25年8月24日（土）、富山市のANAクラウンプラザホテル富山において、「平成25年度校友の集い」が開催された。

公開講演会には、講師に法政大学OBで夕張市長の鈴木直道氏を招いた。鈴木氏は東京都職員から財政破綻した夕張市に全国最年少の市長として当選するなど、注目を集めていることから、会場には校友会員はもとより多くの一般聴講者も詰めかけ、約200人が市長就任までの経緯などに耳を傾けた。

講演に引き続いての総会において、平成24年度事業報告・収支決算並びに、25年度事業計画と収支予算、新しい卒業生組織が審議され、いずれも全会一致で承認された。

特に今回は、新しい卒業生組織（一般社団法人法政大学校友会）に係る終身会員について説明がなされた。

懇親会は、来賓の法政大学校友連合会会長の桑野秀光氏、同副会長で法政大学理事の岡田安弘氏をはじめ、法政大学後援会富山県支部や法政大学後援会クラブ富山県支部役員の方々、さらに特別ゲストとして公開講演会講師の鈴木直道氏を招き、総勢130人の参加の下、NHK富山放送局キャスターとして活躍している舘谷春香さん（H24文卒）の司会により始まった。

はじめに、松井幹夫会長（S39法卒）から挨拶と来賓からの祝辞に続き、名誉会長の松田善正氏（S32法卒）の主唱による乾杯の後、鈴木市長らとともに黒部市長の堀内康男氏（S52経営卒）、富山県議会議員の高野行雄氏（S46社会卒）からスピーチをいただいた。

さらに、今回初参加者13人が登壇し、一人ずつ自己紹介を行ったのに続き、本年新たに結成し活動を開始した女子部会の活動紹介として、女性参加者が今後の抱負などを述べると、来場者から喝采が贈られた。和やかに宴は進んだ後、新たな趣向として参加者全員によるじゃんけんゲームが行われ、盛り上がりは最高潮に達した。

最後に西田政司事務局長（S58経営卒）のリードで参加者一同肩を組んで声高らかに校歌を斉唱した後、法政大学と校友連合会の益々の発展を祈念して吉田義夫会長代行（S39経済卒）の主唱により万歳三唱をし、櫛部春男幹事長（S45社会卒）の閉会の言葉で盛会の内に幕を閉じた。

（事務局　若松）

清水法友会

平成25年度総会を開催 校友の絆強化方針決定

昨年8月10日、清水区のやすい軒本店において15人が出席して総会を開き、予定された議事を決定し、新役員体制が整いました。

本総会の開催にあたっては、従前以上の校友に出席していただくことを期待して、220人の皆様に往復はがきで案内状を出しましたが返信がなかった数は、130人にも及び、わずか15人の出席しか得られませんでした。

この結果については、当支部の百々勇司顧問がよく口にしている「日頃より校友への情報を流してやってほしい。このメッセージが途絶えると校友は徐々に離れていく」との言葉どおり清水法友会がここ数年間校友への情報提供を怠ってきたことが最大の要因であると役員一同は捉えています。この結果を踏まえ、清水地区の校友の絆を強めるべく新役員一同で今後の会の運営を図っていく所存です。まず計画していることは、本総会への出欠席に関らず、返信があった校友に対し総会資料を送付し、今後のイベント（六大学野球観戦、母校訪問、箱根駅伝応援、世界遺産の三保の松

【5面に続く】

シリーズ 支部紹介 第16回

香川県校友会

校友会活動の充実により母校の校格向上を目指す

あゆみと地域活動

香川県校友会（会長　藤田恵弘　中川宜興で、現会長は、七代目に当る。会員数は、昭和34年176人、平成6年394人をピークに、平成22年150人、平成25年360人で推移。活動は、法政大学オーケストラ高松公演、昭和55年の東京六大学香川県OB対抗ゴルフ（春秋）発足。中村哲総長、青木宗也総長を迎えての総会開催、法政大学公開講演会、法球会、昼食会の発足であり、ゴルフでは、常勝軍団として君臨。支部活動については、五代目会長にかけてが、全盛期であった。以後、衰退。再興すべく第七代に現会長が就任し、平成22年4月に出席者23人にて総会を立上げた。平成23年は、四国エイティ8クイーンの米田一典監督（元、全日本女子バレー監督）を迎え、出席者39人にて総会開催（写真）。平成24年は、香川オリーブガイナーズの西田真二監督を迎え、出席者50人にて総会開催。平成25年は、NPO法人・健康を考えるつどいの井上信幸理事長と、香川アイスフェローズの北川真史監督を迎え、出席者57人にて盛大な総会を開催した。ゴルフでは、平成22年に、第60回記念大会と懇親会、綾田紘子プロを応援する西斉　久保貞一　藤田恵弘　中川宜興で、現会長は、七代目に当る。会員数は、昭和34年176人、平成6年394人をピークに、平成22年150人、平成25年360人で推移。活動は、法政大学オーケストラ高松公演、昭和55年の東京六大学香川県OB対抗ゴルフ（春秋）発足。中村哲総長、青木宗也総長を迎えての総会開催、法政大学公開講演会、法球会、昼食会の発足であり、ゴルフでは、常勝軍団として君臨。支部活動については、五代目会長にかけてが、全盛期であった。以後、衰退。再興すべく第七代に現会長が就任し、平成22年4月に出席者23人にて総会を立上げた。平成23年は、四国エイティ8クイーンの米田一典監督（元、全日本女子バレー監督）を迎え、出席者39人にて総会開催（写真）。平成24年は、香川オリーブガイナーズの西田真二監督を迎え、出席者50人にて総会開催。平成25年は、NPO法人・健康を考えるつどいの井上信幸理事長と、香川アイスフェローズの北川真史監督を迎え、出席者57人にて盛大な総会を開催した。ゴルフでは、平成22年に、第60回記念大会と懇親会、綾田紘子プロを応援するこのように法政OBの関連する多種事業なり、スポーツの応援を通じて母校の校格向上を目指しています。

（幹事長　眞鍋　壽利）

【4面から続く】

原清掃ウォーク等）への参加を呼びかけるなど、地についた活動を展開し、絆の輪を徐々に広げていく方針です。（会長　大石　勝巳）

東京都校友会

第1回納涼会開催

平成25年8月10日（土）、上野精養軒において、第1回納涼会が屋上特別会場に95人が集まり盛大に開催されました。

市原幹事（台東支部）の司会にてスタート。初めに、東京都校友会阿部会長より、日頃の活動に対するお礼と、校友連合会の桑野会長のために全面的に協力していこう、埼玉大会を成功させようと、力強い挨拶。続いて、来賓の校友連合会の桑野会長、埼玉県校友会の大井理事長からお祝いの挨拶があり、乾杯は加藤副会長（練馬支部長）の発声で、懇談に入った。

その後、事業担当の吉本理事（港支部）による抽選会が行われ、全員に当たる景品が渡された。

終わりに、品川支部斉藤幹事長がエールを振り、校歌斉唱が行われ、事業担当の河原理事（台東支部長）による閉会挨拶、3本締めで閉会した。

（台東支部長　河原　義朗）

法政大学交響楽団の演奏会協賛　世田谷寄席開催を支援

法政大学交響楽団は第130回定期演奏会を、昨年11月29日（金）墨田区の「墨田トリフォニーホール」において午後7時から開催した。

この演奏会は早くから江東法友会及び東京都校友会が支援を表明しており、交響楽団と協議をかさねてきた。

プログラムの協賛広告からチケット販売までを協賛した。当日は会場は満員となり、素晴らしい演奏に惜しみない拍手が贈られた。

世田谷支部では昨年12月12日下北沢タウンホールにて、午後6時30分より恒例の世田谷寄席を開催した。今回は東京都校友会が協賛した。世田谷寄席は回を重ねて、今回で18回目を迎えた。

例年の会場から、今回は多くの人が入場出来る下北沢の会場に変更した。法政OBの初音家左橋さん他が出演し、盛況であった。

（江東法友会会長　高根　典文）

台東支部

第63回総会盛大に開催

平成25年6月22日（土）、浅草ビューホテルにおいて、「第63回台東支部の総会及び懇親会」が多数のご来賓をお迎えして盛大に開催されました。

菊地幹事長の司会のもと、鈴木副支部長の挨拶で開会。はじめに河原支部長より日頃の活動に対するお礼のあと、年間の事業報告、会計報告、役員改選及び会則の説明があり、満場一致で承認されました。次にご来賓の皆様の紹介のあと、桑野秀光校友連合会会長から、ご挨拶並びに校友連合会の改革についてご報告があり、続いて阿部肇東京都校友会会長からも、心温まるご挨拶と東京都校友会の活動に関するご報告がありました。その後、ご来賓の母校の成田道彦前駅伝部監督よりご講演を賜り一同感心して第一部を閉会。

全員で記念撮影の後、第二部の司会は市原副幹事長に交代。中川前支部長の乾杯の発声で懇親会がスタートしました。浅草ビューホテルのおいしい食事で歓談を楽しみながら、新参加者の紹介、名刺交換タイムを経て、恒例の抽選会に入り、市原副幹事長、相楽幹事を中心に本年度はビンゴゲームで大変な盛り上がりとなりました。

最後に、佐藤猛第四十代応援団団長の音頭で校歌斉唱とエール、続いて石原相談役による中締めのあと、柘副支部長の御礼の言葉で閉会となりました。

（幹事長　菊地　康夫）

目黒支部

支部創立50周年に向けて先輩会員の座談会を開く

本支部は今年（2014年）で支部創立50周年を迎えます。

この節目の年を迎えるに当って、記念行事を開催したいとの会員総意があり、現在様々な案が検討課題に挙がっています。

支部では7月5日に支部総会を兼ねた50周年記念講演会・懇親パーティーを行います。加えて、小冊子風のものを発行したいという希望もあり、その内の一環として昨年の10月22日に昭和20年代～30年代卒業の諸先輩の方々にお集まり戴き、支部の成り立ち、又、当時の活動・逸話などを座談会形式でお話戴きました。

全会員への呼びかけ

目黒支部では今年の50周年を一大区切りと捉え、校友連合会の法人化に伴う組織改革と共に更なる発展を目指すため、先ず会員増強を図ろうとの方針です。

現在66人の会員が在籍しているので、この機会に是非入会をと呼びかけを行っています。

連絡先：事務局（栗田事務局長）
090-3813-5853
FAX TEL 3793-3405
（副支部長　堀場　功）

香川県校友会

香川アイスフェローズの北川真史監督を招き定期総会を盛大に開く

平成25年度定期総会は、昨年7月17日（水）午後6時30分から、高松市浜ノ町のJRホテルクレメント高松にて、県内在住の会員と香川アイスフェローズ及び香川オリーブガイナーズの皆様並びに、後援会香川県支部の役員、合わせて57人が出席して開催されました。

まず、会員物故者への黙祷の後、支部長挨拶、平木享香川県議会議員（自由民主党議員会幹事長）の来賓祝辞、総会の議事へと進行し、24年度事業報告、会計報告、会計監査報告、25年度事業計画、会計予算案のいずれも原案どおり承認、可決されました。

総会に続いて法政大学OBでNPO法人健康を考えるつどい理事長の井上信幸氏より、「柿茶のおすすめ」と題しての貴重なお話しと共に、出席者全員に柿茶のプレゼントがありました。

講演では、法政大学OBで香川アイスフェローズ監督の北川真史氏より、「チャレンジ」と題しての熱意溢れるお話しと、DVDでの香川アイスフェローズの紹介等で、感銘深い後援会となりました。

また、井上信幸理事長、北川真史監督と選手、スタッフ並びに西田真二監督（香川オリーブガイナーズ）とスタッフの皆様と共に一緒に撮影した写真は、良き記念となりました。

懇親会では、香川アイスフェローズが、香川県のイメージアップとにぎわいの創出に貢献した団体として、平成25年4月に受賞した、かがわ21世紀大賞（香川県知事表彰）と、香川オリーブガイナーズの前期優勝を共々お祝いし、北川真史監督、西田真二監督に、それぞれ記念品の贈呈が行なわれました。

引き続き東京六大学懇親ゴルフ会よりの報告、テーブルごとに自己紹介と近況報告等があり、懇親会最後の校歌斉唱では、ロンドを組んでの大合唱となりました。

母校の益々の発展と出席者全員の健勝を祈念しお開きになりました。

（支部長　詫間　敬芳）

駅伝友の会

「箱根駅伝」母校の健闘に期待する

我が母校法政大学にとって大学三大駅伝幕開けの出雲駅伝（10月14日）は8位入賞。続く11月3日の全日本大学駅伝は少し残念な結果の12位でした。そして最後の大一番。箱根駅伝は法政ファンにとってここ近年では最大の期待が高まるのではないでしょうか。

昨年の箱根では嬉しいシード権の獲得がありました。そして今回の目標の一つである8位以内入賞。このためにこの1年間厳しい練習に耐えてきた選手達。本戦では大いに力を発揮し法政ファンを喜ばせてください。

最近の記録会では1万mの自己記録を更新している選手も多く益々期待が高まるばかりです。

本年は、90回の記念大会で参加校も23校になります。その中での8位入賞は並大抵の事ではありませんが、どうか頑張ってください。箱根駅伝は大都会の東京、横浜、湘南海岸の海辺、そして厳しい箱根の山登り、山下りを走ります。昨年のシード権獲得に大きな貢献をしてくれた西池君、黒山君、関口君、そして出場する選手達、テレビ画面に少しでも長く映っていてください。皆注目して見ています。出場選手諸君、1月2日は箱根芦ノ湖に、そして翌3日には大手町に1分1秒でも早く濃紺にオレンジのたすきが戻ってくるよう期待しています。

最後に一言。寒さが厳しい季節です。体調管理に十分気を付けて本戦に臨んで欲しいと願っています。全国の法政ファンは君達の事が皆大好きです。そしてこの20年間大切に育ててくださったご両親のためにも、ご恩返しが出来る活躍を期待しています。

頑張れ、〝オレンジエクスプレス〟

（副会長　桑島　誠一）

外房法友会

25年度総会と懇親会応援団を迎え校歌を

外房法友会は、千葉県の東南部、太平洋に面する長生郡市及び夷隅郡市に在住または在籍する校友を主な会員として構成されます。現在会報を送付している会員は500余人、常時活動の対象として連絡をとる会員は、100余人です。ここに紹介する法友会の総会・懇親会は年間行事の中で一番力を入れて行っているものです。

平成25年外房法友会総会・懇親会は、平成25年7月6日（土）、午後4時から茂原市にあるプラザヘイアンにて開催したところ、来賓として本部から組織部会副会長鷲津一雄氏、千葉県校友会長伊藤貞夫氏、また千葉県議会議員阿井伸也氏、さらに顧問の太田洋いすみ市長のご臨席をいただくとともに会員30余人が出席。盛会のうちに総会を進めることができました。そ

の後の懇親会では、アトラクションに法政大学応援団（チアリーダーを含む）を迎え応援歌等迫真の演技を鑑賞することができました。そして、応援団のリードのもと校歌を皆で歌った時は、感動ものでした。アトラクションは、懇親会の目玉であり会員が一番期待しているものです。今年は、外房法友会員である元法政大学応援団長の田中直宏さんにもお世話をいただき実現できたものです。この感動もあってか、会員の懇親も深まり今後の法友会活動をさらに充実させようとの思いを共有しながらこの会を閉じることができました。（会長　目良　俊徳）

練馬支部

総長杯争奪法政校友ゴルフ会栃木カントリークラブで開催

第98回総長杯争奪法政校友ゴルフ会が昨年10月17日（木）、栃木カントリークラブで20人が参加して開かれ、島田克彦氏（経済学部卒）が優勝し大会杯を手にしました。当日は、ポカポカ陽気の絶好のゴルフ日和の天気に恵まれ、参加者は日頃の腕前を存分に発揮し熱戦を繰り広げました。

ホールアウト後は、表彰式を兼ねた懇親会を開催。

遠藤隆三会長が「昭和34年春・秋、年2回開催し、来年秋には100回目を迎えます。皆さんのご参加があってこそのことで心から感謝致します。今後ともご参加よろしくお願いします」と挨拶。懇親会は、お互いの健闘をねぎらい、この日のプレイを振り返りながらなごやかに歓談。加藤茂事務局長が地元で収穫したばかりの新米コシヒカリを参加者全員に配り閉会となりました。

準優勝以下の入賞者は次

【8面に続く】

卒業生の皆様本年もよろしくおねがいします

新年

進取の気象　質実の風

（作詞・佐藤春夫）

法政大学 総長・理事長 増田壽男	法政大学理事 法政大学校友連合会 会長 桑野秀光 法学部1960年卒	法政大学理事 法政大学校友連合会 前会長 岩部金吾 経済学部1955年卒	法政大学 常務理事 浜村彰	法政大学 常務理事 徳安彰	法政大学 常務理事 福田好朗	法政大学 常務理事 中村純	法政大学理事 法政大学校友連合会 副会長 岡田安弘 経済学部1959年卒	法政大学理事 一般財団法人BOAT RACE振興会 常務理事 船越眞 経営学部1966年卒
法政大学 理事 榎本勝己	法政大学 理事 鈴木文夫	法政大学 監事 倉持正 法学部1976年卒	法政大学 監事 福元淳一 経済学部1967年卒	法政大学 監事 安井洸治 社会学部1967年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会 会長 打越勲 経済学部1960年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会 会長 松井幹夫 法学部1964年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会 会長 矢野晴詩 工学部1969年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会新潟県校友会 会長 竹石松次 社会学部1966年卒
法政大学評議員 法政バドミントンクラブ 会長 森脇英裕 法学部1976年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会 酒井裕 経済学部1974年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会福井県校友会 会長 吉田敏貢 経済学部1961年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会大阪府校友会 常任理事 前田進輔 工学部1967年卒	法政大学評議員 法政大学校友連合会副会長 法政大学社会学部同窓会 会長 中山重臣 社会学部1961年卒	法政大学校友連合会副会長 法政大学高等学校同窓会会長 会長 岩村元雄 経営学部1960年卒	法政大学校友連合会 法政大学校友連合会副会長 法政大学校友連合会大阪府校友会 会長 樋口正蔵 法学部1961年卒	法政大学校友連合会 副会長 西岡憲廣 法学部1963年卒	法政会計人会 会長 中村一三

謹賀新年

法政財界人倶楽部

法政財界人倶楽部は平成5年に設立された法政大学出身者で
上場企業の役員を務める方々で構成され、今年21周年を迎えた組織です。
現在152人の会員が参加し、交流を深めると共に母校の発展支援を行っております。

ご入会希望の方の連絡をお待ちしております。

会　長　大島 雄次　安田生命保険（相）元取締役社長　　副会長　新井 欣弥　鹿島建設（株）元取締役副社長
副会長　岩部 金吾　文化シャッター（株）取締役会長　　副会長　松田 利之　小田急電鉄（株）元取締役社長

連絡先　法政財界人倶楽部事務局　事務局長　佐々木
株式会社　日本共同システム内　担当：柿原・矢賀部
TEL 03-3369-0804　FAX 03-3369-1990

法政財界人倶楽部 常任理事 桑野秀光 曙ブレーキ工業（株） 相談役	法政財界人倶楽部 常任理事 嵯峨明 不二サッシ（株） 相談役	法政財界人倶楽部 常任理事 髙橋清 （株）パイロットコーポレーション 取締役会長	法政財界人倶楽部 常任理事 村田紀敏 （株）セブン&アイホールディングス 代表取締役社長兼COO	法政財界人倶楽部 常任理事 山口学 （株）関電工 取締役会長	法政財界人倶楽部 常任理事 坂戸俊夫 （社）しんきん保証基金 元理事長	法政財界人倶楽部 常任理事 田邉光雄 信金中央金庫 理事長	法政財界人倶楽部 常任理事 花岡英夫 日本通運（株） 取締役執行役員	法政財界人倶楽部 事務局長 佐々木郁夫 明治安田生命保険（相） 元専務取締役
法政財界人倶楽部 常任理事 桑野秀光 曙ブレーキ工業（株） 相談役	法政財界人倶楽部 常任理事 嵯峨明 不二サッシ（株） 相談役	法政財界人倶楽部 常任理事 髙橋清 （株）パイロットコーポレーション 取締役会長	法政財界人倶楽部 常任理事 村田紀敏 （株）セブン&アイホールディングス 代表取締役社長兼COO	法政財界人倶楽部 常任理事 山口学 （株）関電工 取締役会長	法政財界人倶楽部 常任理事 坂戸俊夫 （社）しんきん保証基金 元理事長	法政財界人倶楽部 常任理事 田邉光雄 信金中央金庫 理事長	法政財界人倶楽部 監事 木嶋伸一 トピー工業（株） 執行役員	法政財界人倶楽部 副会長 松田利之 小田急電鉄（株） 元代表取締役社長（現顧問）
法政財界人倶楽部 副会長 岩部金吾 文化シャッター（株） 代表取締役会長	法政財界人倶楽部 副会長 新井欣弥 鹿島建設（株） 元代表取締役副社長（現顧問）	法政財界人倶楽部 会長 大島雄次 安田生命保険（相） 元代表取締役社長 （現明治安田生命特別顧問）	法政財界人倶楽部 常任理事 上田弘 ユアサ・フナショク（株） 代表取締役会長					

（順不同）

LIBERTY AND PROGRESS

謹賀

（法政大学校歌より）

よき師　よき友　つどひ結べり

法政財界人倶楽部	法政財界人倶楽部	法政大学第二高等学校同窓会	法政大学経営学部同窓会	法政大学経済学部同窓会	法政大学理系同窓会	法政大学文学部同窓会	法政大学法学部同窓会	法政大学校友連合会東京都校友会
井上泰一 角川出版(株) 元代表取締役社長	竹中宣雄 ミサワホーム(株) 代表取締役	南波廣宣 東日本高速道路(株) 監査役	会長 品田秀行 経営学部1971年卒	会長 岩井昭 文学部1965年卒	会長 辻田実 経済学部1956年卒	会長 松谷勝 工学部1971年卒	会長 井坂義雄	会長 金子征史 法学部1967年卒	会長 阿部肇 工学部1966年卒
法政大学校友連合会目黒支部	法政大学校友連合会江東法友会	法政大学校友連合会千代田支部	法政大学校友連合会台東支部	法政大学校友連合会東京都校友会練馬支部	法政大学校友連合会山形県校友会	法政大学校友連合会京都府校友会	法政大学校友連合会静岡県校友会	法政大学校友連合会秋田県校友会	法政大学校友連合会宮城県校友会
支部長 山下時博 経済学部1959年卒	会長 髙根典文 経済学部1967年卒	支部長 髙橋聰 幹事長 加藤和雄	支部長 河原義朗 経済学部1965年卒	支部長 加藤茂 工学部1970年卒	会長 千葉一宇	会長 野口龍夫	会長 伊藤忠	会長 酒井久範	会長 三浦徹 経済学部1967年卒
法政大学校友連合会北九州支部	法政大学校友連合会群馬県校友会	法政大学校友連合会松戸支部	法政大学校友連合会岡山県校友会	法政大学校友連合会東京都校友会三重県校友会	法政大学校友連合会厚木法友会	法政大学校友連合会福岡県校友会	法政大学校友連合会神奈川県校友会	法政大学校友連合会佐賀県校友会	法政大学校友連合会山梨県校友会
支部長 森實貴幸 法学部1961年卒	事務局長 岡本時夫	支部長 廣野貴之 経済学部1961年卒	会長 西康宏 経済学部1958年卒	会長 後藤晃一 経済学部1964年卒	会長 難波浩 経営学部1962年卒	会長 松尾幸靜 文学部1971年卒	会長 永﨑秀一郎 経済学部1957年卒	会長 富﨑一己	会長 樋泉智男 社会学部1964年卒
法政大学校友連合会埼玉県校友会	法友体育会	法政大学外濠会（昭和29年卒同期会）	工体連OB会	法政剛柔会	法政大学体育会ボクシング部法友会	法政大学体育会自動車部OB会	磯子カンツリークラブ キングフィールズゴルフクラブ	東京法政ライオンズクラブ
会長 山口泰男	支部長 大井巳喜彦	会長 髙橋修平 経済学部1954年卒	会長 五明公男 法学部1968年卒	会長 松尾秀文 経済学部1965年卒	西尾靖	会長 臼田篤志 法学部1970年卒	会長 内藤晃久 経営学部1965年卒	鈴木康浩 経済学部1963年卒	会員一同

謹賀新年

法政大学校友連合会 **東京都校友会**

～よき師よき友　つどひ結べり～

会　長　阿部　　肇（66　工・建）
副会長　河野　籌雄（55　経・商）　　副会長　加藤　　茂（71　工・機）
副会長　高根　典文（67　経・経）　　副会長　猪股　秀章（74　法・法）
監　事　角田　　実（51　経・商）　　監　事　保谷　紀子（64　文・日）

（本　部）　〒102-0073　東京都千代田区九段北 3-2-3　法政大学九段校舎内
（事務局）　〒101-0021　東京都千代田区外神田 6-15-11-3 階（株）加賀ライズ内
TEL:03-3583-8657　FAX:03-3583-0583　takane@kagarise.co.jp

法政大学 HOSEI University

法政大学後援会

〒102-0073　東京都千代田区九段北 3-2-3
法政大学九段校舎 4F

TEL. 03-3264-9392・9350
FAX. 03-3264-9367
E-mail：koenkai@hosei.ac.jp
URL：http://www.hosei-koenkai.org/

祝

あなたの経験を活かす!!

一般財団法人

法政大学経営者懇談会
入会キャンペーン中!

理事長　金子正之（電気1964年卒）

事務局：〒105-0003　東京都港区西新橋 1-8-4
虎ノ門・米山ビル 5 階

Tel：03-6273-3958　Fax：03-6273-3959
E-mail：hosei-keieisya@oboe.ocn.ne.jp
http://www.hosei-keieisya.com/

（順不同）

【5面から続く】

の皆さん。準優勝＝宮沢三男氏、第三位＝高橋将昭氏、ベスグロ＝児島親衛氏。

（支部長　加藤　茂）

千葉中央支部

花を添えた総会

昨年11月8日（金）18時30分から千葉市中央区にあるプラザ菜の花で、68人と多くの校友と他の6大学校友会代表者の参加を得て、平成25年度の総会を開催いたしました。法政大学校友連合会の井上泰一副会長からご祝辞や、大学の現状、梅沢一夫組織部会長代理から終身会員制度についての説明がありました。第2部の懇親会に入ってからは県内松戸・外房両支部のお話をいただき、その後、我が千葉中央支部の伊藤貞男支部長が瑞宝小綬章を受賞、叙勲の栄に浴されました。

県庁でも後輩に当たる斉藤ひろみさんからの花束贈呈でまさに花を添えました。アトラクションでは女性歌手の水木翔子さんのすばらしい歌声とギターの弾き語りで大いに盛り上がりました。

（山崎　嘉文）

91人が参加した　第7回千葉六旗の会のゴルフコンペ

晴れ渡った平成25年10月18日（金）に袖ヶ浦カンツリークラブ新袖コースで、千葉六旗の会主催の「第7回千葉六旗の会親睦対抗ゴルフコンペ」（幹事校：慶応）が行われました。参加人数は91人で、法政は14人の参加で団体の初優勝を目指しましたが、惜しくも4位でありました。団体戦の優勝は早稲田。準優勝は立教、3位は明治となり早稲田は2年連続の優勝でした。

総合個人戦で準優勝を法政の岩橋成行さんが、9位を石井光男さんが受賞されました。来年は県内外の法政OBの多くの方々に参加して頂き、是非とも初優勝を勝ち取りたいと思います。

（事務局　古市　博文）

豊島支部

総会を開催初参加者10人

平成25年7月26日（金）午後6時30分から法政大学市ケ谷キャンパスボアソナード・タワー25階において25人の参加者により東京都校友会豊島支部の総会を開催致しました。

第1部総会は那波会員の進行にて藤ヶ谷政明前支部長から新たに就任されました後藤次人新支部長により総会議案平成24年度事業報告、収支報告、平成25年度事業計画が報告されました。

その後、梅沢一夫連合会組織部会長代理、高根典文東京都校友会副会長の祝辞並びに校友会の新組織の内容説明があり総会を閉会しました。引き続き第2部では約10人の総会初参加の方々を交えて懇親会を開き、和やかな懇談の後、午後8時30分に散会致しました。

（支部長　後藤　次人）

品川支部

目黒支部共催で和やかに納涼船開催

毎年、品川支部で開催していた納涼船を今年度より目黒支部と共催で8月3日（土）に行いました。参加者は、岩村元雄校友会副会長、山本冨士哉町田法友会（法政大学同窓会組織）、吉田あつみ品川区議なども参加され、23人で和やかに納涼船で東京湾の風景と浴衣と美味しいお酒を満喫しました。

（山本　俊二）

ヨット部OB会

ヨットを楽しむ会を来年創部80周年に

平成25年8月4日（土）神奈川県八景島の法政大学体育会ヨット部合宿所がある八景島マリーナにて、平成25年度の法政大学体育会ヨット部主催の「ヨットを楽しむ会」が実施されました。

当日は天候にも恵まれヨット部OB・OGはもちろんのこと父兄など総勢60人を超える参加者となり、これまでにない盛況の会となりました。

また今年は増田総長、徳安常務理事、岡田副理事、五明教授の大学関係の皆様方にも初めてご参加いただき、470ヨットの新艇進水式にもご参加いただきました。さらに進水式後には参加いただいた応援団の力強い法政大学校歌がマリーナに響き渡り、法政大学の絆を感じる瞬間でもありました。

法政大学体育会ヨット部は2015年に創部80周年を迎えます。また前々回の北京オリンピック、そして前回のロンドンオリンピックと2大会連続でオリンピック選手を輩出しております。

（福永　貴之）

中野支部

総会・懇親会を開く　支部長代行に佐藤博氏

中野支部では、平成25年9月14日中野サンプラザにて、校友連合会井上泰一副会長をはじめ、多くの来賓の方に参加をいただき、総会・懇親会を開催しました。

総会では、冒頭梅沢一夫幹事長の挨拶、会計報告、活動報告などに続き、安藤通久支部長の病気療養期間が長期化していることから、支部長代行として、佐藤博氏（55年経・経卒）を選出、今後佐藤代行を中心に活動を展開していくことが確認されました。懇親会では会員相互が近況報告などに会話が進み、またたく間に予定の時間が過ぎ、閉会に当たり来賓、会員全員による校歌の合唱で幕を閉じました。

中野駅周辺には、明治大学、帝京平成大学が進出、さらに平成26年4月には早稲田大学関連施設の開設が予定されているため、我が法政大学としても区内にその存在感を示したいところであります。

（事務局　佐伯　利昭）

外濠会

26人が参加、祝宴を催す　今年は60周年行事を企画中

当時、学校の教授でした中込世雄氏、職員の岸伸年氏、重原由一氏と昭和59年（1974年）に「外濠会」を設立し、全国各地の同期生に参加を呼びかけましたところ、遠隔地の方も「神楽坂」に参集し、当時の青木総長からお祝いの言葉をいただきました。

以後、毎年総会・懇親会・一泊旅行を行い懐旧を楽しんでいます。

平成25年（2013年）11月4日に、有楽町に26人が参集し酒肴を楽しみ、82歳～86歳が2時間半で祝宴が終わらず、健康維持・友人への参加呼びかけを願い散開しました。

今年は卒業60周年になりますので盛大な行事を行いたく、準備・企画中です。

同期の方は「温故知新」知人を誘って来てくださる様お願いします。

連絡先不明者には事務局にてお知らせいたします。

（事務局　鈴木　嘉能）

江東法友会

恒例の忘年会を開催　年度最後の酒宴会だ！

平成25年11月27日（水）恒例の忘年会を浅草橋・柳橋の「伝丸」にて、30人が出席して開催しました。

校友連合会からは桑野秀光会長、東京都校友会傘下の支部からも参加頂きました。会場の伝丸は柳橋界隈では数少ない料亭であり、華やかし頃の面影を眺めることができる場所です。

江東法友会では、年間を通して幾つかの行事を企画し会員の交流をはかってきましたが、忘年会は25年度最後の行事であります。

来賓の紹介と挨拶があり酒宴となりました。皆様期待の芸者の三味線・踊りとなり、飛び入りで自慢の声を披露する名人！もおり、また、世田谷支部の島田秀考様からは落語の出し物もあり盛り上がりました。

最後は校歌を斉唱して、お開きとなりました。

尚、平成26年度総会は、5月9日（金）午後6時から亀戸駅近くの「アンフェリシオン」にて開催いたします。

（事務局）

福岡支部

5年目のはしろう会

福岡支部「はしろう会」は、今年で参加5年目になりますが、福岡ドームから海ノ中道海浜公園と会場が変わり寒さの中で全員完走。一昨年、3000人中8番に入賞者を輩出するほど盛んになっています。

箱根駅伝競走に法政魂が遷り、活躍される事を祈ります。

（副幹事長　藤　泰治）

シリーズ　卒業生団体紹介　第11回

公認会計士法友会

会計プロフェッショナルとして、母校の発展と後進育成に貢献

公認会計士法友会は、学術団体の商学研究会や公認会計士講座室出身の公認会計士で組織していた『橙昇会』を前身として昭和58年1月に創設されました。平成18年9月、会計大学院創設の時に先輩OBの協力を大学より要望されたことから、活動を拡大すべく公認会計士法友会を再結成いたしました。現在、約700人の会員で、法政大学校友連合会に加盟する団体として、活動の場を広げています。

当大学出身の税理士の集まりである法政会計人会とともに、母校の発展と後進育成に貢献すべく協力して活動しております。

平成22年11月に本校で開催された第14回全国大学会計人会サミットでは、両会が協力して企画・運営に当たりました。今後の経済を支える中小企業の成長戦略をテーマに、元法政大学総長清成忠男先生に『中小企業の現状と展望』と題する基調をいただき、パネルディスカッションを通じて、中小企業の成長に会計プロフェッショナルが果たすべき役割を討議し、サミットの成果と懇親会でのおもてなしで、参加校に法政大学をしっかりとアピールできたと自負しています。

公認会計士試験合格祝賀会

法友会総会を6月に、公認会計士試験合格祝賀会を1月に、その際には会員研修会も開催しております。合格祝賀会には、大学総長をはじめ、関係学部の教授、関係団体会長も出席され、総勢150人を超える合格祝賀会になります。宴の結びには、応援団と校歌を合唱、合格者はもちろん、合格者の父兄の方々が感激された姿はとても印象的でした。

会員を含めての活動として、法政大学の学校法人監査は、法政大学会所属の監査法人パートナーが担当しており、また、大学の評議員、監事、OB団体の役員等として、専門領域で協力している会員も多く、大学との繋がりがますます深くなっています。当会の和食会長をはじめ、多くの来賓の方に参加をいただき、総会・懇親会を開催しました。

総会では、冒頭梅沢一夫幹事長の挨拶、会計報告、活動報告などに続き、安藤通久支部長の病気療養期間が長期化していることから、支部長代行として、佐藤博氏（55年経・経卒）を選出、今後佐藤代行を中心に活動を展開していくことが確認されました。懇親会では会員相互が近況報告などに会話が進み、またたく間に予定の時間が過ぎ、閉会に当たり来賓、会員全員による校歌の合唱で幕を閉じました。

中野駅周辺には、明治大学、帝京平成大学が進出、さらに平成26年4月には早稲田大学関連施設の開設が予定されているため、我が法政大学としても区内にその存在感を示したいところであります。

（事務局　佐伯　利昭）

外濠会

26人が参加、祝宴を催す　今年は60周年行事を企画中

当時、学校の教授でした中込世雄氏、職員の岸伸年氏、重原由一氏と昭和59年（1974年）に「外濠会」を設立し、全国各地の同期生に参加を呼びかけましたところ、遠隔地の方も「神楽坂」に参集し、当時の青木総長からお祝いの言葉をいただきました。

以後、毎年総会・懇親会・一泊旅行を行い懐旧を楽しんでいます。

平成25年（2013年）11月4日に、有楽町に26人が参集し酒肴を楽しみ、82歳～86歳が2時間半で祝宴が終わらず、健康維持・友人への参加呼びかけを願い散開しました。

今年は卒業60周年になりますので盛大な行事を行いたく、準備・企画中です。

同期の方は「温故知新」知人を誘って来てくださる様お願いします。

連絡先不明者には事務局にてお知らせいたします。

（事務局　鈴木　嘉能）

江東法友会

恒例の忘年会を開催　年度最後の酒宴会だ！

平成25年11月27日（水）恒例の忘年会を浅草橋・柳橋の「伝丸」にて、30人が出席して開催しました。

校友連合会からは桑野秀光会長、東京都校友会傘下の支部からも参加頂きました。会場の伝丸は柳橋界隈では数少ない料亭であり、華やかし頃の面影を眺めることができる場所です。

江東法友会では、年間を通して幾つかの行事を企画し会員の交流をはかってきましたが、忘年会は25年度最後の行事であります。

来賓の紹介と挨拶があり酒宴となりました。皆様期待の芸者の三味線・踊りとなり、飛び入りで自慢の声を披露する名人！もおり、また、世田谷支部の島田秀考様からは落語の出し物もあり盛り上がりました。

最後は校歌を斉唱して、お開きとなりました。

尚、平成26年度総会は、5月9日（金）午後6時から亀戸駅近くの「アンフェリシオン」にて開催いたします。

（事務局）

福岡支部

5年目のはしろう会

福岡支部「はしろう会」は、今年で参加5年目になりますが、福岡ドームから海ノ中道海浜公園と会場が変わり寒さの中で全員完走。一昨年、3000人中8番に入賞者を輩出するほど盛んになっています。

箱根駅伝競走に法政魂が遷り、活躍される事を祈ります。

（副幹事長　藤　泰治）

初の全国法政大学卒業生市長会開催

初の全国法政大学卒業生市長会（21市長）が、昨年10月27日（日）私学会館・アルカディア市ヶ谷で開催された。

桑野秀光校友連合会会長は、「一県一支部体制は、45都道府県で実現しました。また、２０１３年度卒業生から、全員が終身会費を支払って校友会に入会してきます。毎年約７０００人ほどの終身会員が加入してきますので、会費管理など任意団体では運営に限界が生じます。

そこで、校友連合会は、組織の透明性を確保することなどから２０１４年４月１日より「一般社団法人法政大学校友会」に改組して新たにスタートすることになりました。

今後は、キャリア力の向上・発展、カルチャーの発信やスポーツ交流などの事業を中心に大学、後援会と連携し展開していく方針です。本日の市長会もキャリア力の向上・発展事業の一環として開催しました」と校友会の現状報告を兼ねた開会挨拶。

引き続き、増田壽男法政大学総長が『地方活性化と大学の役割』について講演。「法政大学は、グローバルな地域問題研究の拠点として、大学のもつ知識、情報や地域との連携によるノウハウなど広く社会に還元することを目的とした「地域研究センター」の活動をはじめ、各地域の活性化について積極的に取り組んできたことから、この分野を専門とする教員が数多く在籍しています。地域活性化研究など大学がもつノウハウを活用していただくなど市長さんとの協力関係をさらに深めて行きたいと思います」と述べた。

懇親会は、浜村彰法政大学常務理事の歓迎の挨拶のあと、桑野校友連合会会長の乾杯で開宴。翁長雄志那覇市長、岩切秀雄薩摩川内市長、辻重五郎丹波市長、古谷義幸秦野市長、神保国男戸田市長、安樂岡一雄館林市長、稲葉本治下妻市長、鈴木直道夕張市長各氏が、それぞれ市のおかれている現状報告、学生時代の思い出話や大学への要望などを述べた。会場全体が和やかな雰囲気のなか、市長会を次年度以降も継続して開催して行くことなどを決めて閉会となった。

（文・宮本　幸彦）

第21回みちのく校友会
親睦と交流深まる絆で盛況

2013 こおりやま大会

東北6県のみちのく校友会の持ち回りで開催される伝統の第21回みちのく校友会２０１３こおりやま大会が、福島県の郡山支部の主管で11月23日、市内の郡山ビューホテル本館において、１４０人の参加者の３部構成で盛況に開かれた。後援には（公財）郡山コンベンションビューロー、福島民報社、福島民友新聞社、ラジオ福島の講演会ＰＲ応援もあり、会場は参加者で溢れ関心を高めた。

みちのく6県の支部長会議

大会に先立ちみちのく校友会6県の支部長会議が３階コスモスの間で開催された。司会進行には郡山支部の滝本忠夫氏があたり、熊谷和年支部長の歓迎の挨拶、福島県校友会会長の木村昇氏（会津支部長）に次ぎ、東北支部長の三浦徹氏（宮城県校友会）の挨拶の後、出席者が紹介され報告・協議事項が討議。また、次期の大会開催都市は山形県校友会の千葉一宇氏に拍手を持って委託し決定された。

第1部の大会式典は会場を移し、４時から郡山支部の沢井正樹氏の司会進行で、大学から増田壽男総長、徳安彰常務理事、鈴木文夫理事、校友連合会から桑野秀光会長、岡田安弘副会長を迎え、来賓に根本匠復興大臣、品川萬里郡山市長を招き、来賓祝辞をいただき、開会された。次期大会開催の山形県校友会の千葉宇一会長が紹介され挨拶。

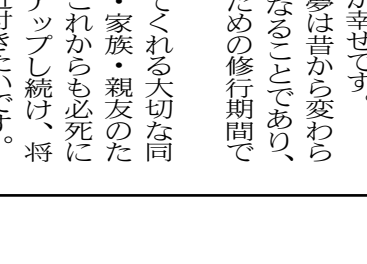
第2部は、公開講演会としてスポーツ健康学部長の山本浩教授を招き「２０２０年東京五輪を引き寄せた力～7年後そしてその先へ～」の演題で、話術巧みな解説で会場の一般来場者を沸かせた。

会場を移動しての第3部の懇親会は、郡山支部の山口勇顧問の開会挨拶で開会。本年度全日本合唱コンクールで合唱日本一を獲得した郡山市立郡山第五中学校合唱部、増子菜月さんほか48人の部員の合唱が披露され「音楽都市・郡山」の感動を与えた。余韻の残る中、乾杯を諸橋義隆いわき支部長の発声で開宴。

新幹線通勤で小金井キャンパスで教鞭を取られた品川郡山市長から歓迎と市政報告があり法政卒職員の紹介で檀上を埋めた。後援会支部、在京東京六大学校友会様ほかが登壇しての挨拶が続き交流と親睦の輪が広がり絆を結んだ。

宴たけなわのころ郷土芸能の「高柴デコ屋敷」が七福神踊り保存会で会場を練り踊り賑わい、郡山支部の國分義之の指揮で校歌斉唱の輪が会場を圧しエール交換で、福島支部長の菅原征彦氏の中締めでお開きとなった。

（文・写真伊藤　正義）


全国一の合唱部コーラス

シリーズ 新社会人は今

社会人となって間もない校友にこの厳しい経済状況下でどんな活躍をしているか寄稿していただいた。

日本銀行
高知支店業務課
竹川　昌宏
（2012年 社会学部卒）

金融決済を陰で支えるやりがい

現在は高知支店の業務課に勤務し、金融機関どうしの資金決済や国庫金の出納・計理、また国債・有価証券に関する事務に携わらせていただいています。

配属当初は、これらの業務を根拠づけている多種多様な規程・法令に悪戦苦闘する日々でした。

日本銀行の支店の業務が注目されることはあまりありません。しかし、地場の金融機関と直に接しながら、本行の金融政策を（そのごく一部とはいえ）形にするため、正確な応対と事務処理を求められる緊張感のもと日々働いています。

そして、個人法人を問わず様々な顧客と接する現場職員としてやりがいを感じています。

職場において、上司や同僚と連携しながら円滑に仕事をしていくためには、学生時代の思わぬ経験が役に立つことがあります。

学生のみなさんには、「就職に有利」という視点にこだわりすぎず、好奇心を大切にして「学生らしい経験」をしていただきたいと思います。

沖電気工業株式会社
大瀧　美佳
（2013年 国際文化学部卒）

活躍できる営業になるために

私は現在、沖電気工業株式会社で、官公庁様向けの営業をしております。弊社は、インフラ系の製品を多く取り扱っております。そのため、官公庁様向けであれば、なお、お客様の事業に深くかかわることも多く、話の規模も大きいので大変ではありますが、お客様のことを理解することは営業として重要であると思うので、日々学ぶ姿勢を忘れず業務に取り組んでおります。

また、営業と言いましても、お客様のことだけではなく、工場などの社内の関係各所との調整も行わなければなりません。そのため、社内の制度や状況もよく理解しておく必要があると思っております。

このように、学ぶことがたくさんあり、日々奮闘しておりますが、現在のような学びの期間を充実させることにより、職場の先輩方のような営業として活躍できる日が来ることに思いを馳せております。

JR東日本
中央線高円寺駅営業係
酒井　丈
（2013年 情報科学部卒）

電車と共に生きる

私は2013年3月に法政大学を卒業し、JR東日本に入社しました。

現在はJR中央線高円寺駅で営業係として、主に改札での案内やみどりの窓口での発券業務を担当しています。

それらの多くのお客さまから「ありがとう」と言っていただけることを、やりがいだと感じています。

そのためには膨大な知識と努力が必要であり、現在は他の同僚に比べて自分の知識や努力が不足していることに打ち勝とうと努力しています。

私は昔から電車が大好きで、その大好きな電車を通じて少しでも社会に貢献できることが幸せです。

将来の夢は昔から変わらず車掌になることであり、今はそのための修行期間です。

応援してくれる大切な同僚・同期・家族・親友のためにも、これからも必死にステップアップし続け、将来の夢に近付きたいです。

法学部同窓会

12月は理事&忘年会

昨年8月以降は、東京六大学野球の観戦を企画・実行しました。9月29日（日）は法・慶戦、10月19日（土）は法・早戦を観戦、応援しました。

試合後は、現役学生を含む参加者による懇親会で、大いに盛り上がりました。

観戦した試合は、いずれも法政が勝利しましたが、リーグ戦優勝はならず残念でした。

理事会とその後の懇親会は、9月から12月まで月1回のペースで行われています。12月の理事会は、忘年会を兼ねて、箱根荘で実施。

（77年卒　事務局長　齊藤　友嘉）

経済学部同窓会

平成25年度活動報告

◇8月10日
納涼船クルーズ
（エンジョイ経友会）

◇10月9日
第20回就活支援セミナー
（社会学部同窓会と共催）

◇同18日
学部教授会との懇談会
（多摩校舎）

◇同26日
グレードアップ講座
（牧野教授講義）

◇同24日
忘年パーティー・記念講演ほか

◇同30日
学生プレゼンテーション大会（後援）

◇12月16日
学内「学徒出陣イベント」参加

◇1月7日
新宿山の手七福神めぐり
（募集中。何方にもご参加頂けます。）

（60年卒　事務局長代行　加藤　毅）

文学部同窓会

馬込文士村の跡を訪ねる

秋の特別企画として、昨年11月9日（土）、「馬込文士村」の跡を訪ねました。

当日は、都営浅草線「西馬込」駅に14人が集合し、大田区立郷土博物館で学芸員の方から、文士村について説明を受けました。

そのあと、山王草堂記念館（旧徳富蘇峰邸）、尾崎士郎記念館、大森貝塚の碑などを見て、夕刻、JR「大森」駅で解散し、有志で懇親会を行いました。

次回は、今年5月頃、春の特別企画を実施します。

（75年史学科卒　金森　和彦）

山王草堂記念館前

理系同窓会

理系同窓会発足記念式典を開催

「理系同窓会発足記念式典」が、2013年11月2日（土）に小金井キャンパスにおいて開催されました。理系同窓会の発足は、11年4月ですが、東日本大震災等の影響により今年の開催となりました。

式典では、福田好朗常務理事、崎野清憲理工学部長の祝辞の後、工学部同窓会第19代会長 阿部肇氏及び第20代会長 佐藤敏夫氏の功労者表彰も行われました。

記念講演会では、「ものづくり」と「もののけ」について理工学部創生科学科横山泰子教授よりお話いただきました。

祝賀会は150人を超す参加者の中、東館食堂にて新たな理系同窓会への期待を胸に、盛大に行われました。最後に、理系同窓会のさらなる発展を願いつつ、参加者一同が1つの輪となり、校歌斉唱で閉会いたしました。新しい理系同窓会に、今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

（85年卒　事務局長　川上　忠重）

経営学部同窓会

多彩な行事を展開

経営学部同窓会では、平成25年8月から12月まで、以下の行事を行いました。

◎六大学野球応援観戦
平成25年10月19日（土）

◎トップマネジメントセミナー開催
平成25年10月29日（火）

◎一泊懇親会の開催
平成25年11月17・18日

◎経営学部教授会との懇親会開催
平成25年12月7日（土）

トップマネジメントセミナーは、本学経営学部卒業のカルビー（株）の伊藤社長の講演を実施。

それぞれの催しの詳細は、経営学部同窓会のホームページに掲載します。

今後とも、多くの皆様のご参加を心よりお願い申しあげます。

（74年卒　副会長　三海　眞一）

社会学部同窓会

就活セミナー開く 3学部同窓会共催

社会・経済・現代福祉3学部同窓会共催による「第20回就活セミナー」が3学部教授会とスポーツ健康学部、キャリアセンターの後援を得て昨年10月9日にエッグドーム5階で開催された。今回は〝先輩が語る・就活体験と仕事〟というテーマで厳しい就活戦線を経て実社会で活躍中の先輩をスピーカーとして招き、就活支援セミナーという形で、就活や職場での体験を学生に伝える企画で開催。

今回のコーディネーターには経済学部の廣川みどり教授があたり、スピーカーは大和証券の榎本祐介さん（12年経済卒）、住友商事の安田菜里奈さん（12年社会卒）、全日本空輸の小林洋行さん（12年社会卒）、まちだケアーの土肥由紀恵さん（12年現代福祉卒）の4人が就活・学生生活、実社会での経験を130人の後輩に熱く語られた。

左から安田さん、小林教授、小林さん

その後、会場からの質問表を取りまとめ、共通質問、個別質問に分けて各人から丁寧に説明があり、就活のヒントや参考情報の交流が展開された。

2部の懇親情報交換会は、2階のスローワールドカフェに会場を移し、水上久忠社会学部同窓会事務局長の司会で、中山重臣会長の主催者挨拶と教授会から小林直毅社会学部教授の挨拶で労をねぎらい、山本浩スポーツ健康学部長の激励乾杯の発声で開宴した。

会場には各業界のOB・OGや先生方も参加し、就活に役立つ情報交換が繰り広げられ、ロンドを組んでの校歌斉唱で前途を祈念した。

社会学部創設60周年の記念国際シンポ開く

昨年12月8日（日）、3部に分かれ終日多摩キャンパス百周年記念館国際会議場で約200人強の参加者を得て開催された。

国際シンポは、「エネルギー政策の転換と公共圏の創造—ドイツの経験に学ぶ—」この問題意識のもとに、新エネルギー政策として、日本社会は早急に原子力発電所による電力生産から脱却し、再生可能エネルギー中心の地域分散型・市民参加のエネルギー生産に転換すべきである。ゲストにはドイツのペーター・ヘニッケ教授（前ヴィバータール研究所長）他国内外で活躍しておられる学者や研究者をお招きし開催された。今回は法政大学・サステイナビリティ研究所（所長：福田良朗所長）、本学社会学部教授船橋晴俊教授が中心になり同窓会も協賛して企画された。懇親会は国際会議場にてスピーカーのヨーク・スミヤ・ラウバッパ氏（立命館大学経営学部）やアイリーン・美緒子・スミス氏（グリーン・アクション代表）が参加、国際色豊かに大反響を呼んだ。

（事務局長　水上久忠）

法政高校同窓会

新キャンパス7度目のホームカミングデー

昨年10月5日（土）第16回ホームカミングデーが行なわれました。

新キャンパスで7度目になる今回は、5期、10期、15期…と卒業期の下一桁が0と5の卒業生をお招きし、総勢103人（卒業生77人、本校OB教員7人、本校教員8人、同窓会役員11人）と盛大に開催されました。

第1部はオレンジホールにて飯田校長の開会の辞に始まり、岩村同窓会会長のご挨拶～第2部は食堂に場所を移して懇親会が行なわれ、5期の卒業生から順番に全員の皆様にご挨拶頂き、歴史を振り返り、とても感慨深い懇親会でした。

〈ホームページリニューアルのお知らせ〉

先月から法政高校同窓会ホームページがリニューアルしました。毎年発行している会報や行事予定や報告、クラブ紹介、写真館等々とっても見やすくなりました。是非ご覧になってください。

法政大学高等学校同窓会ホームページ
http://www.hoseikd.jp

（広報委員長　大貫　光伸）

法政二高同窓会

学校主催6度目のホームカミングデー

2013年11月19日に法政二高第29期から第34期卒業生と法政二工業卒業生・同窓会・育友OB会・白塔会等の関係者約130人が集まり学校主催の第6回ホームカミングデーが盛大に開催されました。

式典では、榎本校長先生からのご挨拶に続き、品田同窓会長より同窓会報告と樽石育友会会長から挨拶がありました。

次に、16年法政二高の共学化と新校舎建設に関する進行状況の説明が総務主任の大場先生から詳細に行われました。

説明終了後、時計塔ツアー（旧時計塔と新時計塔）を行い多くの参加者が旧時計塔の思い出話を語っていました。その後の懇親会では、お楽しみ抽選会・記念写真・法政大学応援団のデモンストレーションを行い中村副校長先生からの閉会のご挨拶にて終了しました。

（会長　品田　秀行）

女子高同窓会

フォーラム法政女子のチカラ開催

昨年11月2日「フォーラム法政女子のチカラ」が母校で行われました。朝のNHKニュース番組「おはよう日本」のキャスター鈴木奈穂子さん（51期生）を迎え、基調講演「法政女子で学んだこと」に続いて、竹石聖子さん（43期生）と黒川彩樹さん（58期生）を加えてのパネルディスカッションが行われ、在校生、父母、大学の理事、付属校役員、同窓生など参加者の見守る中で、短い時間ながら内容の濃いディスカッションが行われました。この中で「高校生活を好きになって興味のある事に取り組み、悔いのない楽しい3年間を過ごして欲しい」「学力に自由な発想を身につければ、最強な人間になれる」「高校生活の中で人生を生き抜く、判断力、力を養って欲しい」とパネラーからエールを送られ、在校生代表・小山華紗音生徒会会長さんから「女子高の目指す〝自主規律の確立〟に今後も取り組んでゆきます」との力強いメッセージで締めくくられました。母校の創始者、野上弥生子先生の教え「女性である前にまず人間であれ」「若い女性よいかに生きるべきか」の問いに、良き女子高の伝統を大切に守り、後輩達が強く逞しく魅力ある女性に育ってくれるよう希ったことでした。

（会長　小倉　久子）

事務局お知らせ

①平成25年12月27日（金）から平成26年1月7日（火）まで大学一斉冬季休暇により休業とします。

※活動時間は
月～金曜日（祝日休み）
午前9時～午後5時
②スタッフを紹介します

事務局長　惠良　郁文
事務局員　後藤　直美
同　中村寿美子
同　日向　和子
同　松本　ゆか

投稿募集

有朋自遠方来　不亦楽乎

の孔子の言葉通りOB・OGの会が各地で開かれています。その模様を紹介するコーナーですので〝よき師よき友〟がつどひ結べりの声と写真を投稿ください。

●校友会広報のメールアドレスが新設されました。

校友会アドレス
〈kouyuukouhou
@gmail.com〉

スキー部

名門の「プライド」男女とも1部校

1921年に正式創部された体育会スキー部は、日本スキー界の草分けとして全日本学生スキー連盟発足に深く寄与するなど常に学生スキーをリードし、現在も古豪として強く存在感を示しています。

多くのOBがスキー界の要職で活躍するなか、現役も世界を視野に入れて日々鍛錬をしています。

現在、男女とも学連1部校であり、男子14人、女子6人の部員には数人のナショナルチームメンバーもおります。

競技の特性上、どうしても国内外の遠征が多くなるなか、しっかりと学業との両立をしながらトップレベルで戦うのもスキー部の大きな特徴です。

今後、国内外のレースを転戦しながら、2月15日から岩手県・雫石スキー場で開催される全日本インカレに向けて調子をピークに持って行くよう全力で取り組みます。ぜひ現地へ応援にいらしてください。お待ちしております。

監督　近藤　浩之

シリーズ　体育会紹介　第8回

剣道部

男女とも日本一を目指す集団へ！

- 創　　部　大正 8 年に創立（創部 95 年）
- 主な戦績　男子　全日本（団体）　優勝 4 回　準優勝 7 回　3 位 7 回
  全日本（個人）　優勝 2 回　準優勝 6 回　3 位 2 回
  女子　全日本（団体）　準優勝 2 回　3 位 4 回
  全日本（個人）　準優勝 2 回　3 位 4 回
- 部　　長　鈴木　佑司　法学部教授
- 師　　範　三宅　一志（S44 卒）、田村　徹（S48 卒）
- 顧　　問　大山　賢一（H2 卒）
- 監　　督　男子：猪谷　政人（H4 卒）　女子：稲葉　美穂（H19 卒）
- 部 員 数　男子 34 人　女子 16 人　合計 50 人
  練習は、市ケ谷総合体育館　剣道場で 15 時 30 分より（週 6 回）

チームの特徴・目標

男女とも高校時代全国制覇を経験した人材を多く抱える戦力が整った状態。特に女子は、2012年世界剣道大会で団体優勝を経験した2人が在学している。

しかし、平成25年度は男女とも関東・全日本ともに優勝を目指し稽古に励みましたが、結果は、関東団体は男子2位、女子優勝。

全日本団体は男子2位、女子ベスト8という結果で、全国制覇は叶いませんでした。

本年は、関東・全日本で男女とも完全制覇を目指し努力していきます。

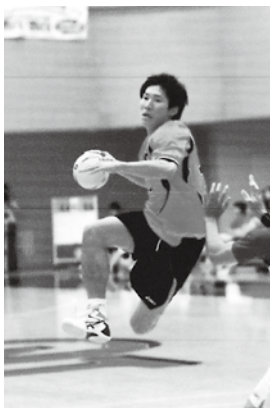
監督　猪谷　政人

ハンドボール部

1部上位、目指す

法政大学ハンドボール部は1938年に創部されました。部長は渡部近志（経済学部教授）、監督は上久保重次（64年度卒）。関東学生ハンドボール連盟男子1部リーグに所属し、全日本学生で1回、関東学生リーグで1回の優勝記録があります。卒業生の中には日本代表や社会人リーグの中で活躍する選手もいます。

現在、当部は男子部のみで部員は32人が所属しており、週6日法政大学多摩キャンパス体育館のアリーナにて活動しています。今秋の関東1部リーグ戦において、格上の日本大学に勝利し、他の上位校とも善戦するも、格下の大学に敗戦し入替戦へ。入替戦では1点差で辛くも勝利し、無事に1部残留を決めました。11月下旬には全日本学生の試合が控えており、ベスト8を目標に日々の活動に励んでおります。



来春のリーグでも1部上位を目指し頑張りますので、今後とも応援よろしくお願いします。

監督　上久保　重次

バドミントン女子部

団体戦で完全制覇

法政大学体育会バドミントン部女子部は、平成25年度の学生4大大会である春季関東学生リーグ戦・東日本学生選手権・秋季関東学生リーグ戦・全日本学生選手権の団体戦において完全制覇を果たしました。これは、女子部創部以来の快挙であり、監督・コーチをはじめ選手諸君の健闘を大いに称えたいと思います。

また、団体戦のみでなく個人戦においても、関東学生選手権ではシングルスで窓場選手が優勝、ダブルスで今野・樋口組が優勝を果たし、東日本学生選手権と全日本学生選手権では田中・市丸組が両大会で2年連続優勝の輝かしい戦績を残しました。この戦績は、法政の校格の向上に繋がる一方学生バドミントン界での高い地位を確保いたしました。

男子部はどの大会でも大接戦の末健闘空しく優勝を逸しましたが、学生バドミントン界で法政ありという存在感を示しました。

世界バドミントンに羽ばたくには実業団選手の壁を破ることが必至ですが、まだまだ力不足を否めず、今後一層の練習に励み技術と体力をつけるとともに接戦をものにする精神力を鍛錬する必要があると思っております。

次に、このような戦績を残せましたのは、法政大学の〝法政リーディングユニバーシティ基金〟の施策により選手の活動をサポートして頂いたことが大きな要因であり、感謝を申し上げたいと思います。

今後、体育会バドミントン部と法友バドミントンクラブは、更なる高い目標を持って邁進していく所存でありますので、皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

（会長　森脇　英裕）

第12回オール法政ゴルフ大会

“総長杯”霞ヶ関CCで開く

第12回オール法政ゴルフ大会〝総長杯〟が昨年10月25日（金）、埼玉県の霞ヶ関カンツリー倶楽部で66人が参加し開催された。

優勝は米満菊男さん　女子は和食佐和子さん

2020年開催の東京五輪大会でのゴルフ会場となるコースは、台風接近の悪情報で最悪のコンディションにもかかわらず、参加者は日頃の腕前を競い合い、最終ホールまで熱戦が繰り広げられた。グロス86、ネット72・6の成績で米満菊男氏（拳友会OB）が見事優勝、増田壽男総長から総長杯のほか副賞が贈られた。女子は、グロス88、ネット75・8で和食佐和子氏（和食公認会計士法友会会長令夫人）が優勝。桑野秀光校友連合会会長から優勝のトロフィーが贈られました。準優勝は星野正史氏（フェンシング部OB）、第3位は西島良男氏（自転車部OB）が入賞しました。

ホールアウト後の表彰式で桑野会長は「皆様のご理解・ご協力をいただき、校友連合会が2014年度から一般社団法人法政大学校友会として新たに生まれ変わることになりました。来年3月の卒業生から卒業と同時に全員が終身会費を納入し校友会の終身会員になります。毎年約7千人が我々の仲間になって行きます。今後とも新卒業生組織へのご支援、ご協力をよろしくお願い致します」と挨拶。引き続き、増田総長が、「悪天候のなか全員が無事プレイをされ本当にご苦労様でした。参加者の皆さんの中にはご高齢の方が多く見受けられます。それはそれで大変結構なことですが、これからは若者などを含めた幅広い方々に参加してもらうことでこのゴルフ会がより盛況さを増すのではないかと思っております。さて、皆様のご関心が高い箱根駅伝はおかげさまでシード権での出場となりました。選手、監督を初め関係者一同上位を目指して頑張っておりますので熱い応援よろしくお願い致します」と挨拶。

パーティーは、高橋将昭駅伝友の会事務局長の乾杯で始まり、会場ではお互いの健闘をねぎらい、この日のプレイを振り返ったり、久しぶりの旧友との再会に話が弾むなど和やかに歓談し盛り上がりも最高潮になるなか閉会となりました。

（文・宮本　幸彦　写真・鷲津　一雄）

第90回 箱根駅伝

頑張れ　オレンジエクスプレスGO!!

言わずと知れた学生長距離界最高峰の大会。その知名度から今や毎年年末に京都で行われる全国高校駅伝を走った選手をはじめ、全国の有力選手は、箱根駅伝を目指しているといっても過言ではありません。

本大会で10位までは翌年のシード権が与えられるとともに、10月に行われる出雲駅伝の出場権も手にすることができます。ただ今年は90回大会に当たり23校が出場できるため、本年のシード権争いは熾烈な競争です。皆さんの応援が最大の力です。

（駅伝友の会事務局長　高橋　将昭）

《神奈川県校友会支部応援態勢》　応 援 日：1月 2、3 日（木・金）往路復路

◆横浜支部
9 区（戸塚⇔鶴見）23.2㎞
横浜駅前　崎陽軒道路側
連絡先：永崎　045-802-5517

◆相模原支部
4 区 /7 区（平塚⇔ 小田原）21.3㎞
二宮駅前　横浜銀行前
連絡先：大津　045-752-8800

◆湘南支部 3 区 /8 区（戸塚⇔平塚）21.5㎞
辻堂〜茅ヶ崎中間点　三菱自動車前
連絡先：飯田　046-267-0684

◆鎌倉法友会
3 区（影取ボーリング場ランド前）
8 区（辻堂フジ交通商社前）
藤沢市辻堂元町 4-8-27
連絡先：佐々木　0467-43-6525

第21回 法政大学 全国卒業生の集い 彩の国 “埼玉大会”

校友950人強が集い盛況に開催

第21回法政大学全国卒業生の集い“埼玉大会”が2013年9月6日～8日の3日間、彩の国・埼玉において開催された。校友の友情と団結、母校の限りない発展を願い、全国各地から950人強の校友が参集。6日のゴルフ大会・前夜祭、7日の大会式典・講演会・懇親会を中心に、8日のエクスカーション・2コースと多彩な企画で盛況裏に終了し、14年11月21日～23日の福井大会へと引継がれた。

記念講演（田中優子社会学部長）

ゴルフ大会（霞ヶ関CC）　写真＝大会事務局

ゴールドメダリストを育てる会三宅義信理事長のエール

前夜祭（川越プリンスホテル）　写真同上

特別講演（山本浩スポーツ健康学部長）

大会式典での桑野大会会長のあいさつ

大会式典

大会式典は、さいたま市のパレスホテル大宮において開催された。金子正之埼玉大会副実行委員長の開会宣言のあと国歌・校歌の斉唱、物故者追悼の黙祷が行われた。大会会長・桑野秀光校友連合会会長は「全校卒業生の集いの歴史と伝統が法政大学と校友との一体感を生み、ひいては大学の発展に貢献できることを願っております」と挨拶。次いで、山口泰男大会実行委員会長の歓迎挨拶、大井巳喜彦同委員長により来賓者紹介が行われた。

引き続き、上田清司埼玉県知事（おもてなし隊隊長）は「埼玉県は、関越道、東北道、常磐道などと県内が高速道路網で結ばれており、東北新幹線、上越・長野新幹線が走り東京駅、新宿などの主要ターミナル駅まで30分と交通の要衝です。また、浦和レッズ、大宮アルディージャ、西武ライオンズなどのプロチームが活躍するスポーツ王国でもあります。鉄道博物館、盆栽美術館に小江戸・川越、長瀞などの景勝地も多くあります。ぜひ改めてご来県ください」と挨拶。

増田壽男法政大学総長は「1県1支部体制を目指して設立された埼玉県法友会も、12年8月に埼玉県校友会へと名称変更。卒業生間のより強固なネットワークづくりに取り組まれており、そのご尽力には心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます」と祝辞。

千葉大一法政大学後援会会長は「近年少子化により、特に法政大学を始めブランド大学間の競争はますます厳しくなっていくことが予想されますので、個々の卒業生の活躍に加え、卒業生のネットワークによって法政大学の校格や人気度が上がることで良い学生を集めることを願っております」と祝辞。

井橋吉一大会副実行員長の大会宣言に続き、宮澤忠昭同の閉会宣言で式典は滞りなく終了した。

厳かに演じられた鷲宮神社土師一流催馬楽神楽

増田総長ら総勢32人による鏡開きで大会が開宴

藍響連・帆波衣連による活気満ちた南越谷阿波踊り

彩の国から第22回福井大会へ大会旗の引き継ぎ

講演会

講演会は、田中優子法政大学社会学部長の『**未来のための江戸学、そして法政大学のこれから**』と題した記念講演と山本浩同スポーツ健康学部長の『**スポーツに時代を読み取る**』と題した特別講演が行われた。

両講演の合間には、神楽の部で日本最初の国指定重要無形民俗文化財となった久喜市・鷲宮神社の〝土師一流催馬楽神楽〟が披露された。

懇親会

懇親会は、桑野会長・上田知事から歓迎挨拶、祝電披露のあと、増田総長はじめ総勢32人による鏡開きが行われた。引き続き、浜村彰法政大学常務理事による乾杯のあと、祝宴となった。

南越谷・阿波踊り連が威勢よく会場を練り歩いたあと、第22回全国大会の引継ぎ式が行われ、桑野会長から吉田敏貢福井県校友会会長に大会旗が渡された。

法政大学応援団による応援歌、原正成団長のリードで参加者全員がロンドを組み校歌を斉唱した。

最後に、神風英男埼玉県校友会相談役が閉会の辞を述べ、大盛況のなか散会となった。

大会の司会は、法政大学社会学部4年の大東和華子（おおとうわかこ）さんと品川亮太君が務めた。（大会式典・講演会などの様子は、校友連合会のホームページに掲載）

（構成・矢田　義徳　写真・伊藤　正義）

全国卒業生の集い 埼玉大会ゴルフ成績

順位	競技者名	アウト	イン	GROSS	HDCP	NET
優勝	宮澤尚子	49	44	93	21.3	71.7
2位	吉田敏貢	39	47	86	14.2	71.8
3位	山崎邦宏	43	43	86	13.0	73.0
4位	奥山喜美代	45	46	91	17.8	73.2
5位	橋本総司	50	46	96	22.5	73.5
6位	井上泰一	48	39	87	13.0	74.0
7位	笹岡睦男	45	48	93	18.9	74.1
8位	岩田吉弘	47	45	92	17.8	74.2
9位	佐藤守克	48	50	98	23.7	74.3
10位	田中利幸	47	51	98	23.7	74.3

次期大学総長に田中優子教授を選任

進取の気象を標語に新ビジョン提案

増田壽男総長（72）の任期満了に伴う総長候補者選挙で、33代総長に田中優子社会学部長（61）が11月22日の総長候補者選挙で浜村彰法学部教授の（60）と競い選出され、12月4日の理事会で選任されました。任期は4月1日から3年間。

田中教授は神奈川県出身で、1974年3月に文学部日本文学科を卒業。77年に修士課程修了、80年に博士課程単位取得満期退学。80年に第一教養部専任講師、03年に社会学部教授。母校出身で六大学初の女性総長として注目されています。

政策綱領（主旨）

1. 使命を「自由と進歩」に求め「進取の気象」を標語に、次の時代を担うビジョンを絶えず提案し問いかける。
2. 持続的に実施できる仕組みの整備
3. 職場の構築と業務改善
4. 中高大連携教育の構築
5. 学部教育の新たな展開
6. 大学院教育の開放と教育支援体制の拡充
7. 国際化のさらなる推進
8. キャンパス再構築
9. 学内組織の整備
10. 中長期ビジョンの策定

編集後記

東京五輪の決定で日本中に希望が満ちている。

法政大学も六大学ブランドとしての輝きを放つため卒業生組織の大強化を始めた。大手私学で初めての法人格を持った卒業生組織として生まれ変わる。

更に4月には母校出身の総長が誕生、しかも時代を先駆けるように六大学初の女性総長である。まさに「進取の気象」、法政の面目躍如。

大学ブランドは卒業生が創るとの言葉がある。

さあー、四十三万卒業生が誇りを胸に、終身会員として法政ブランド創りに是非ご参加を。

校友連合会副会長（広報担当）　佐々木郁夫

一般社団法人 法政大学校友会（現：校友連合会）入会のお願い

より大きく、より開かれた、より誇りの持てる卒業生組織構築のために

法政大学校友連合会は、「法政ネットワーク」強化により校友憲章に謳っている「母校に対する貢献」「母校愛」「母校に対する誇り」を基本理念に、校友・大学・後援会と手を携えて諸事業を推進して行くための卒業生による組織です。2013年度卒業生は全員校友会に入会致します。OB、OGの皆様のご入会をお待ち申しあげます。

同封の「入会のお願い」（右写真）のパンフレットに切手不要の「仮入会申込書ハガキ」に諸事項を記入し投函ください。

事務局より「終身会員入会申込書」と「口座振替のご案内」をお届けしますのでご記入し、手続きください。